令和８年度 第４回沖縄県がん診療連携協議会 医療部会議事要旨

日　時：令和８年８月 21 日(金)　16：00～17：15
場　所：Zoom を利用した Web 会議
参加者：５名
伊江将史(県立中部病院)、山本孝夫（県立八重山病院)、金城達也(琉球大学病院)
古波津万里子(沖縄県保健医療介護部健康長寿課)、増田昌人(琉大病院がんセンター)
欠席者：６名
宮里浩(那覇市立病院)、浅野志麻(県立宮古病院)、中村陽二(北部地区医師会病院)
安次嶺宏哉(沖縄協同病院)、島袋百代（NPO パンキャンジャパン沖縄支部)、徳元亮太（沖縄がん教育サポートセンター)
陪　席：２名
知念　崇（琉大病院がんセンター)、豊福真理子(琉球大学病院がんセンター)

【報告事項】

１．令和８年度 第３回医療部会議事要旨について
　議事進行の都合上、資料１の説明を省略した。

２．がん診療連携拠点病院等の指定要件について
　増田委員より、資料 2-1 から資料 2-3 に基づき、説明があった。
　がん診療連携拠点病院等、小児がん拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院の指定要件改定について説明があった。今後は指定要件の見直しが 3 年ごとに実施されること、新たな現況報告書による再申請が予定されていることが報告された。また、拠点病院には地域のがん医療の質向上や連携体制の強化が求められるとともに、アピアランスケアやリンパ浮腫対策、治験情報の提供、BCP 整備などへの対応が新たに求められることが説明された。さらに、緩和ケアの充実や各種診療体制・連携体制についてホームページ等での情報公開が必要となる旨説明があった。

３．小児がん拠点病院等の指定要件について
　増田委員より、資料 3-1 から資料 3-3 に基づき説明があった。
　小児がん拠点病院について、従来の全国 15 拠点を中心とした体制から、各都道府県に小児がん拠点病院を整備する方向で制度改正が進められていることが報告された。

４．がんゲノム医療中核拠点病院等の指定要件について
　増田委員より、資料 4-1 から資料 4-3 に基づき説明があった。
　がんゲノム医療についても各都道府県に中間拠点病院を配置する方向性が示された。

５．医療機関の選定要件の修正案について
　増田委員より、資料 5-1 から資料 5-4 に基づき説明があった。
　主な修正内容として、以下４項目について説明があった。
　(1) ⑩肺がん分野の選定要件の修正について
　(2) ③甲状腺がん、⑪骨・軟部腫瘍、⑰小児がん分野の症例数の緩和について

(3) ⑪骨・軟部腫瘍、⑫難治性皮膚がん、⑰小児がん、⑱ＡＹＡ世代のがん、⑳遺伝性腫瘍分野の選定要件の明確化について

(4) 肝胆膵分野を、⑦肝臓がん、⑧胆道がん（胆のう・胆管）、⑨膵臓がん分野に分けることについて

修正案については、各ワーキンググループ及び医療部会委員から承認を得ており、今後、連携協議会委員へ諮ったうえで確定する予定との説明があった。

６．その他

【協議事項】

１．医療部会が所掌する分野の第４次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）の中間評価について

増田委員より、前回説明した評価シートについて、9 月以降に各委員へ送付し、意見及び評価を依頼する予定である旨説明があった。

２．北部・宮古・八重山医療圏における血液内科外来・腫瘍内科外来・放射線治療外来の達成状況について

増田委員より、資料７に基づき、説明があった。

北部地区医師会病院における血液内科外来について、令和８年９月 11 日から血液内科外来が開設される予定であり、中頭病院血液内科の友寄医師が月１回診療を行う予定であることが報告された。

３．次回の開催日について

９月下旬開催予定。

４．その他